

施策の目標一覧

| 頁数 | 施策の項目 | 目 標 | 現状値 | | 中間値 (H25) | 目標値 (H27) | 目標値の説明 | 目標値の達成によってどのような状態を めざしているのか |
|----|--------|-----------------------|----------|----------|--------------|--------------|--|---|
| | | | 数値 | 基準日 | | | | |
| 19 | 保健・医療 | メタボリックシンドローム該当者の割合 | 26.2% | H22.3.31 | 25.2% | 24.2% | メタボリック症候群と診断された人の割合 | 生活習慣の改善を図ることで、糖尿病や心筋梗塞などのリスクを低減し、健康を維持できるようにします。 |
| | | いきいき百歳体操参加者数 | 700人 | H22.3.31 | 1,200人 | 1,500人 | いきいき百歳体操の参加実人数 | いきいき百歳体操に取り組むことにより高齢者が元気で自分らしく過ごせることを目指します。また、歩いて15分程度でいける身近な会場で実施することにより、地域とのつながりを深め孤立することも防ぎます。 |
| | | 介護予防サポーターの数 | 34人 | H22.3.31 | 100人 | 140人 | 介護予防サポーター講座修了者数 | 地域主体で介護予防を推進することにより、住民主導の意識を高めることを目指します。 |
| 21 | 地域福祉 | 福祉ボランティア登録者数 | 2,443人 | H22.3.31 | 2,500人 | 2,500人 | 地域で福祉活動に携わるボランティアの登録者数 | 地域で福祉活動に携わるボランティア登録者数の増加に努めることで、人と人の絆を深め、支えあいをもとにした地域づくりが進むことを目指します。 |
| 23 | 高齢者福祉 | 要介護認定率 | 17.1% | H22.3.31 | 18.0% | 18.0% | 高齢者人口のうち、要介護（要支援）認定を受けている人の割合 | 介護予防事業を推進することで、介護が必要な高齢者が少なくなり、いきいきと暮らせるまちを目指します。 |
| | | 地域包括支援センター相談件数 | 9,965件 | H22.3.31 | 11,000件 | 12,000件 | 地域包括支援センターでの訪問や電話等で相談を受けた延べ人数 | 個々の状況に応じた保健・医療・福祉サービスを総合的に受けることができるようセンター機能の充実を図ることにより、困ったことには何でも相談できる体制を目指します。 |
| | | ふれあいサロン活動団体数 | 153か所 | H22.3.31 | 170か所 | 180か所 | 市内でふれあいサロン活動を実施・継続している団体数 | 高齢者・障がい者・子育て家庭などが、それぞれの地域社会の中でのつながりの場をもち、支えあう関係づくりを目指します。 |
| | | シルバー人材センター会員数 | 1,070人 | H22.3.31 | 1,200人 | 1,400人 | シルバー人材センターに入会している会員数 | 高齢者の就業機会を確保することにより、高齢者の能力を生かした地域社会づくりを目指します。 |
| 25 | 障がい者福祉 | 障がい者要支援者への戸別訪問件数 | 0件 | H22.3.31 | 1,250件 | 1,250件 | 「障がい者要支援者台帳」の同意者への戸別訪問件数 | 台帳登録に同意された市内在宅の障がい者のお宅を訪問し、必要な情報の提供及び助言、障がい福祉サービスの利用支援等を行うなど、相談支援の充実・強化を目指します。 |
| | | 退院可能精神障がい者の地域生活への移行人数 | 0人 | H22.3.31 | 4人 | 6人 | 退院可能な精神障がい者の地域生活への移行人数 | 退院可能な精神障がい者の退院に向けた病院との調整や障がい者本人及び家族の意向を尊重し、包括的な相談支援など退院後の継続した支援体制の整備を目指します。 |
| 27 | 子育て支援 | 麻疹、風しん予防接種率 | 95.2% | H22.3.31 | 95.3% | 95.4% | 麻疹、風しんの予防接種率 | 感染力が強い麻疹と風しんの予防接種の接種率を高めることで、子どもの健康保持を目指します。 |
| | | 生後4か月までの乳児訪問率 | 97.6% | H22.3.31 | 100% | 100% | 市内に住所を有する生後4か月までの乳児がいる家庭の訪問割合 | 全戸訪問することで、親子の心身の状況や養育環境に応じた助言や支援を行い、育児不安の軽減と虐待予防を目指します。 |
| | | 保育所定員 | 1,125人 | H22.3.31 | 1,215人 | 1,215人 | 市内の認可保育所の定員数 | 共働きの親が安心して働ける環境整備に努めます。 |
| 29 | 社会保障 | 国民健康保険税収納率 | 90.0% | H22.5.31 | 91.0% | 91.5% | 1年間の国民健康保険税の収納率 | 国民健康保険事業の健全な運用ができるよう、未納者の状況を調査し収納率の向上を目指します。 |
| | | 年間1人当たり医療費 | 322,000円 | H22.3.31 | 330,000円 | 330,000円 | 市民1人当たりの年間医療費 | 1人当たりの年間医療費や受診内容を把握することで、適切な医療費の負担による医療費の軽減を目指します。 |
| 31 | 生涯学習 | 公民館主催講座への参加者数 | 10,745人 | H22.3.31 | 11,500人 | 12,000人 | 住民ニーズを的確にとらえて公民館が主体的に開催する公民館主催講座への年間参加者数 | 市民が生涯にわたって自らの能力を高める学習機会の充実を図り、学びを通じた地域力の向上を目指します。 |
| | | 市民1人当たりの図書貸出冊数 | 6.37冊 | H22.3.31 | 6.64冊 | 7.14冊 | 市民1人当たりの年間図書貸出冊数 | 図書館機能を充実し、生涯学習の一環としての市民の図書館利用の推進を目指します。 |

| 頁数 | 施策の項目 | 目 標 | 現状値 | | 中間値 (H25) | 目標値 (H27) | 目標値の説明 | 目標値の達成によってどのような状態をめざしているのか |
|----|---------------|-----------------------------|----------|----------|--------------|--------------|---|--|
| | | | 数値 | 基準日 | | | | |
| 33 | 学校教育・幼児教育 | 不登校児童出現率（小学校） | 0.32% | H22.3.31 | 0.16% | 0.15% | 全小学校児童数に対する不登校児童数の割合 | だれもが行きたくなくなる学校づくりを目指します。 |
| | | 不登校生徒出現率（中学校） | 3.17% | H22.3.31 | 1.58% | 1.57% | 全中学校生徒数に対する不登校生徒数の割合 | |
| | | 特別支援学級在籍児童生徒の個別の教育支援計画の作成割合 | 40% | H22.3.31 | 90% | 100% | 小中学校特別支援学級の児童生徒数に対する個別の教育支援計画を作成した児童生徒数の割合 | 個々の障がい特性に応じた教育的支援を充実させます。 |
| | | 預かり保育実施幼稚園数 | — | — | 7園 | 10園 | 預かり保育を実施する幼稚園の数 | 教育活動としての幼稚園での預かり保育を実施し、保護者の子育てを支援します。 |
| | | 公立学校施設の耐震化率 | 55.1% | H22.3.31 | 59.1% | 64.7% | 校舎総面積（屋内運動場・幼稚園を含む）に占める耐震済面積（診断の結果、基準を上回る建物、昭和57年以降建築の建物を含む）の割合 | 児童・生徒が安全で安心して学校生活を送れるように、また、地域住民の避難場所としての機能を果たすことを目指します。 |
| 35 | 青少年の健全育成 | 補導員・補導委員の街頭での活動回数 | 762回 | H22.3.31 | 780回 | 800回 | 育成センター補導員・補導委員の街頭での年間出勤回数 | 青少年の実態や課題についての情報共有を推進し、地域全体で青少年の健全育成に関わっていく意識の向上を目指します。 |
| | | 学校支援ボランティアの登録者数 | 276人 | H22.3.31 | 350人 | 400人 | 地域の人や保護者の力を生かして学校の教育活動を支援する、学校支援ボランティア「雪舟スクールサポーター」の登録者数 | 地域の教育力を生かして、青少年の健全育成を行っていく環境づくりを目指します。 |
| 37 | スポーツ・レクリエーション | 体育施設の利用者数 | 417,700人 | H22.3.31 | 420,000人 | 425,000人 | 体育施設の年間利用者数 | 生涯スポーツに親しみ、健康で生きがいを持った市民を増やします。 |
| 39 | 芸術・文化 | 市民会館利用率 | 63.6% | H22.3.31 | 66.0% | 68.0% | 市民会館の使用可能日数に対する利用割合 | 施設設備の維持と充実を図るとともに、利用しやすい環境を整えることに努め、文化振興の向上を目指します。 |
| | | 市民ギャラリー利用率 | 72.6% | H22.3.31 | 80.0% | 85.0% | 市民ギャラリーの使用可能日数に対する利用割合 | |
| | | 文学選奨応募作品数 | 110点 | H22.3.31 | 130点 | 150点 | 文学6部門の合計応募点数 | 市民の応募数を増やすことで、市民の文芸創作活動を充実させます。 |
| 41 | 文化財 | 石仏調査実施済地域の面積割合 | 65% | H22.3.31 | 100% | 100% | 石仏調査を終了した地域の面積割合 | 市民が、身近な文化財を自ら調査することで、地域の歴史を知り誇りが持てることを目指します。 |
| | | 文化財講座開催回数 | 20回 | H22.3.31 | 23回 | 25回 | 市内で開催される文化財講座の講師に出向く回数 | 文化財に関する講座を行うことにより、保護活動の成果を市民に還元し、文化財保護意識の高揚を目指します。 |
| 43 | 人権意識 | 社会教育施設における人権に関する講演会等の参加者数 | 340人 | H22.3.31 | 390人 | 425人 | 社会教育施設における人権に関する講演会等の年間参加者数 | 人権に視点を当てた講演会等の参加者数を増やすことで、人権意識の高揚を目指します。 |
| 45 | 自然環境・歴史的景観 | 自然環境啓発事業参加者数 | 201人 | H22.3.31 | 225人 | 250人 | 市が開催する動植物を観察するイベント等の自然環境啓発事業への参加者数 | 市内の動植物や外来生物等について、市民の関心を高めるとともに、理解が深まることを目指します。 |
| 47 | 住宅 | 長期優良住宅建築等計画認定件数累計 | 55件 | H22.3.31 | 350件 | 500件 | 長期優良住宅建築等計画認定の平成21年度からの累計件数 | 住宅が長期にわたり良好な状態で使用されることにより、住生活の向上及び環境への負担の低減を図ることができます。 |
| | | 戸建住宅改築・建替件数累計 | 128件 | H22.3.31 | 370件 | 500件 | 戸建住宅の改築又は建替の平成20年度からの累計件数 | 住宅を改築又は建替えることにより建築物の地震に対する安全性の向上を図ることを目指しています。 |

| 頁数 | 施策の項目 | 目 標 | 現状値 | | 中間値 (H25) | 目標値 (H27) | 目標値の説明 | 目標値の達成によってどのような状態を めざしているのか |
|----|------------|--------------------------------|------------------|----------|------------------|------------------|---|---|
| | | | 数値 | 基準日 | | | | |
| 49 | 上水道・水資源 | 岡山県広域水道企業団からの受水に伴う配水本管の新設割合 | 43% | H22.3.31 | 65% | 75% | 岡山県広域水道企業団からの受水に伴う配水本管の新設割合 | 自己水源と受水の管路網の連結により、更なる安定給水を目指します。 |
| | | 鉛製給水管取替工事完了率 | 42% | H22.3.31 | 75% | 90% | 鉛製給水管の取替工事の完了率 | 鉛溶出による健康被害を防止し、より安全な水道水の供給を目指します。 |
| | | 未普及地の解消 給水普及率 | 94.5% | H22.3.31 | 95.5% | 95.8% | 給水区域内の水道普及率 | 未普及地域への配水実施により水道の普及を進めます。 |
| 51 | 下水道 | 公共下水道事業認可区域内の整備率 | 87.3% | H22.3.31 | 91.4% | 95.6% | 事業認可を受けている区域面積に対するの整備区域面積の割合 | 公共下水道整備を進めることで、整備区域内の水洗化を進めます。 |
| | | 浄化槽人口普及率 | 22.0% | H22.3.31 | 22.7% | 23.5% | 市内全人口に対する浄化槽使用人口の割合 | 公共下水・集落排水区域以外の区域での水洗化を進めます。 |
| | | 公共下水・集落排水・浄化槽合わせでの水洗化率 | 81.4% | H22.3.31 | 85.1% | 88.7% | 市内全人口に対する公共下水・集落排水・浄化槽使用人口全体の割合 | 水洗化率を高め、市内全域の生活環境の改善を目指します。 |
| 53 | 公園・緑地 | 住民管理の都市公園数 | 46か所 | H22.3.31 | 50か所 | 54か所 | 都市公園の管理を、公園周辺の住民に委託した件数 | 地域住民に管理を委託することにより、公園を地域の施設として愛着をより一層感じてもらうことを目指します。 |
| 55 | 資源循環型社会 | 家庭ごみの排出量 平成17年度（20,455 t）対比 | 16,158 t 21%減 | H22.3.31 | 15,400 t 25%減 | 14,400 t 30%減 | 一般家庭から排出される年間の家庭ごみの量と平成17年度の家庭ごみの量（20,455 t）に対する削減率 | 家庭ごみによる二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化防止を目指します。 |
| 57 | 環境保全 | I S O 認証取得事業所数累計 | 26 | H22.3.31 | 28 | 30 | 環境マネジメントシステムである I S O 14001 の取得事業所数 | 事業所の環境マネジメントシステムが構築され、環境を配慮した活動を目指します。 |
| 59 | 土地利用・市街地整備 | 宅地面積 | 1,335 h a | H20.10.1 | 1,355 h a | 1,385 h a | 市内の宅地（住宅地・工業用地・その他の宅地）の総面積 | 総合的かつ計画的な土地利用を推進することにより、健全で秩序ある土地利用を目指します。 |
| 61 | 道路・交通網 | 市道の改良率 | 43.8% | H22.3.31 | 44.5% | 45.0% | 認定市道の総延長に対する改良済総延長の比率 | 改良工事を進め、交通の円滑化と利用者の利便性向上を図ります。 |
| | | 市道の舗装率 | 75.2% | H22.3.31 | 76% | 77% | 認定市道の総延長に対する舗装済総延長の比率 | 舗装新設工事を進め、交通の円滑化と利用者の利便性向上を図ります。 |
| 63 | 情報通信 | ケーブルテレビ整備率 | 91.7% | H22.3.31 | 93.0% | 94.0% | 市内の全世帯に対するケーブルテレビ視聴可能な世帯数の割合 | テレビの難視聴地域の解消に努めるとともに、市の広報媒体である回覧板チャンネルの視聴向上を目指します。 |
| 65 | 治山・治水・砂防 | 急傾斜地指定申請件数 | 1件 | H22.3.31 | 1件 | 1件 | 急傾斜地崩壊対策事業に伴う危険区域指定申請件数 | 危険区域指定後、県の防災工事により土砂災害を防止することができます。 |
| | | 老朽ため池の改修箇所 (後期基本計画期間中の累計) | - | - | 3か所 | 5か所 | 後期基本計画期間中における老朽ため池改修実施箇所数の累計 | 洪水調整機能を持つため池を計画的に改修していくことにより、災害を未然に防止します。 |
| | | 山林保育面積（後期基本計画期間中の下刈・除伐面積累計） | - | - | 100 h a | 160 h a | 後期基本計画期間中における山林を保全していくための下刈や除伐面積の累計 | 山林の荒廃を防止し、森林による水源かん養と保安機能の向上を目指します。 |

| 頁数 | 施策の項目 | 目 標 | 現状値 | | 中間値 (H25) | 目標値 (H27) | 目標値の説明 | 目標値の達成によってどのような状態を めざしているのか |
|----|------------|---------------------------------|---------------|-----------|---------------|---------------|--|---|
| | | | 数値 | 基準日 | | | | |
| 67 | 消防・防災など | 消防団員の応急手当講習受講者数累計 | 27人 | H22.3.31 | 437人 | 637人 | 消防団員を対象にした応急手当講習受講者数の累計 | 応急手当技術を習得することによって、大規模災害発生時においては、地域防災のリーダーとして住民を指導し、迅速な救命体制をとることができます。 |
| | | 自主防災組織設置率 | 19.6% | H22.3.31 | 31.0% | 38.0% | 市内全世帯に対して自主防災組織加入世帯数が占める割合 | 自主防災組織をつくることによって、住民一人一人が防災に関心を持ち、準備をすることができます。災害発生においては、自助・共助による地域ぐるみの協力体制が力を発揮します。 |
| 69 | 防犯・交通安全 | 交通事故（人身）件数 | 495件 | H22.3.31 | 470件 | 450件 | 市内の交通事故（人身）の年間発生件数 | 市内発生 of 交通事故件数を把握することにより、交通の安全度を測ります。交通安全に関する啓発や活動を広め、交通事故件数を減らします。 |
| | | LED防犯灯への切替割合（市管理分） | 1.2% | H22.3.31 | 12.0% | 20.0% | 市管理分の防犯灯をLEDに切り替える割合 | LEDに切り替えることで消費電力を抑え、また長寿命によるメンテナンス費用や手間を軽減し、コスト削減を図ります。 |
| 71 | 辺地対策 | 辺地地区への防火水槽設置箇所累計 | 2か所 | H22.3.31 | 3か所 | 3か所 | 辺地地区への防火水槽設置数の累計 | 消防水利不足地区の解消を図ります。 |
| 73 | 農林業 | 認定農業者数 | 131人 | H22.3.31 | 140人 | 150人 | 農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者の認定数の累計 | 効率的、安定的な農業を実現するため、認定農業者の育成に取り組めます。 |
| | | 野猪防護柵設置延長 （後期基本計画期間中の累計） | - | - | 2,400m | 4,000m | 後期基本計画期間中における、野生の猪から被害地を守るための防護柵設置延長の累計 | 野猪による農作物を中心とした被害防止の効率向上を目指します。 |
| | | 薬剤樹幹注入による松くい虫防除本数（後期基本計画期間中の累計） | - | - | 1,200本 | 2,000本 | 後期基本計画期間中における、保全の必要な松林への薬剤注入による松くい虫防除本数の累計 | 松くい虫による被害を未然に防止し、重要松林を保全します。 |
| 75 | 商業 | 卸売業・小売業における事業所数 | 573 | H19.7.1 | 580 | 600 | 卸売業・小売業の店舗数 | 商店街・商工会議所と連携し、空き店舗の利用等によりにぎわいを創出し、商業の活性化を図ります。 |
| | | 卸売業・小売業における年間商品販売額 | 73,399 百万円 | H19.7.1 | 74,000 百万円 | 75,000 百万円 | 年間の卸売業・小売業商品販売額 | 市内の商店の利用状況を把握し、商店街・商工会議所と連携して、商業の活性化を図ります。 |
| 77 | 工業 | 優良企業の誘致件数 | - | | - | 2社 | 立地協定締結企業数 | 雇用機会の創出、税収確保、地域産業力強化及び地域活性化を図ります。 |
| 79 | 観光 | 観光客数 | 71万人 | H21.12.31 | 90万人 | 100万人 | 岡山県観光客動態調査「吉備路・備中国分寺」及び「総社・宝福寺」の合計観光客数 | 既存の観光資源の魅力向上、新たな観光資源の発掘、効果的な情報発信等により観光客の増加を図ります。 |
| 81 | 勤労者福祉・雇用対策 | 有効求人倍率 | 0.52 | H22.3.31 | 0.75 | 1 | ハローワーク総社管内の有効求人倍率 | 有効求人倍率の推移により、雇用環境を把握し、働く場の確保や起業の支援を進めます。 |
| 83 | 消費者対策 | 生活用品交換銀行利用数 | 41 | H22.3.31 | 51 | 61 | ゆずります・もとめますの生活用品交換銀行の利用件数 | 一般家庭で使われていない品物の再活用を図ることにより、物に対する価値観を再認識し、物を大切にす無駄のない消費生活の啓発を図ります。 |
| | | 生活用品交換銀行登録件数 | 84件 | H22.3.31 | 105件 | 126件 | ゆずります・もとめますの生活用品交換銀行の登録件数 | |
| 85 | 市民のまちづく意識 | NPO法人数 | 25 | H22.3.31 | 30 | 35 | NPO法人として認可を受けた件数 | 様々な分野（福祉、教育、文化、まちづくり、環境、国際協力など）で社会の多様化したニーズに応えるNPO法人の育成に努めます。 |

| 頁数 | 施策の項目 | 目 標 | 現状値 | | 中間値 (H25) | 目標値 (H27) | 目標値の説明 | 目標値の達成によってどういう状態を めざしているのか |
|-----|------------------|-------------------------|-------|----------|--------------|--------------|--|--|
| | | | 数値 | 基準日 | | | | |
| 87 | 地域コミュニティ | 連合自治組織の組織化数 | 0 | H22.3.31 | 5 | 19 | 連合自治組織の組織化件数 | 小学校区や公民館分館単位での連合自治組織を組織化し、個々の町内会でなくまとまった組織として、地域課題の解決にあたることを目指します。 |
| 89 | ボランティア | ボランティア団体数 | 125 | H22.3.31 | 140 | 150 | ボランティア連絡協議会への登録団体数 | 幅広い分野での市民のボランティア団体への参加を促します。 |
| 91 | 男女共同参画社会 | 市の審議会等への女性の登用率 | 25.6% | H22.4.1 | 32.0% | 40.0% | 各種審議会等の委員総数に占める女性委員の割合 | 政策決定過程への女性の参画の状況が把握でき、男女の割合が近づくことによって、男女の意見が平等に市の政策に反映されることを目指します。 |
| | | 男女共同参画講演会等への男性参加比率 | 17.3% | H22.3.31 | 20.0% | 22.0% | 男女共同参画の視点に立つて行う講演会等の参加者数に占める男性参加者の割合 | 男女共同参画を推進するためには、男女とも意識改革が必要であるため、女性に比べ割合が少ない男性参加者を増やし、男女がともに生きやすい男女共同参画社会の実現を目指します。 |
| 93 | ふれあい交流 | 日本語教室の設置数 | 2 | H22.3.31 | 5 | 7 | 外国人に対しての日本語教室設置数 | 外国人が日本で暮らしていくために必要となる日本語の習得をサポートすることにより、暮らしやすい地域生活を目指します。 |
| 95 | 岡山県立大学との交流 | 共同研究実施件数 | 3件 | H22.3.31 | 5件 | 5件 | 岡山県立大学と市との共同研究の年間実施件数 | 岡山県立大学の豊富な知識や技術を活用し、本市と大学が共同して研究活動を行うことにより、行政運営上の課題の解決を図るとともに大学と地域が連携したまちづくりの推進を目指します。 |
| | | インターンシップ受入れ学生数 | 11人 | H22.3.31 | 15人 | 20人 | 岡山県立大学生のインターンシップ（就業体験）年間受入人数 | 岡山県立大学生に市役所での就業体験の機会を与えるとともに、本市を第2のふるさとに感じてもらえるよう深い愛着を持ってもらうことを目指します。 |
| | | 岡山県立大学との交流件数 | 177件 | H22.3.31 | 180件 | 200件 | 岡山県立大学の教員や学生などの人材を活用した審議会、交流会等の年間実施件数 | 岡山県立大学の知的財産を活用し、大学を協働のまちづくりのパートナーの一つと捉え、まちづくりの推進を目指します。 |
| 97 | 市民参加の推進 | 1日当たりの市ホームページアクセス数 | 990件 | H22.3.31 | 1,200件 | 1,300件 | 市ホームページへの1日当たりの平均アクセス数 | 分かりやすいホームページを作成し、閲覧の増加を目指します。 |
| | | パブリックコメント一事案当たりの平均アクセス数 | 20件 | H22.3.31 | 100件 | 150件 | パブリックコメント（意見公募）手続を実施する際のホームページへのアクセス数の平均件数 | 重要な計画等の策定の際にはパブリックコメント手続を実施し、広く市民の意見をお聞きすることで、透明性の高い、市民に開かれた市政を推進します。 |
| 99 | 行政改革の推進 | 正規職員数 | 558人 | H22.4.1 | 563人 | 563人 | 一般行政部門、教育部門、消防部門、公営企業等会計部門を合計した本市の正規職員総数 | 市民ニーズに対応できるよう、職員の資質向上に努めるとともに、行政需要や事務量を十分勘案し、計画的な新規採用を行うことで、バランスのとれた体制整備を図ります。 |
| | | 各種申請手続の簡素化件数累計 | - | - | 15件 | 25件 | 市役所への各種申請手続について、押印省略や様式改正削除などの簡素化を実施した件数 | 市民の負担軽減を図ると同時に、簡素で効率的な行政を目指します。 |
| 101 | 効率的で持続可能な財政運営の推進 | 実質公債費比率 | 19.7% | 平成21年度 | 18.0%以下 | 18.0%以下 | 一般会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率 | 地方債の適切な管理を行い、健全財政を維持するため、実質公債費比率18%以下を目指します。 |